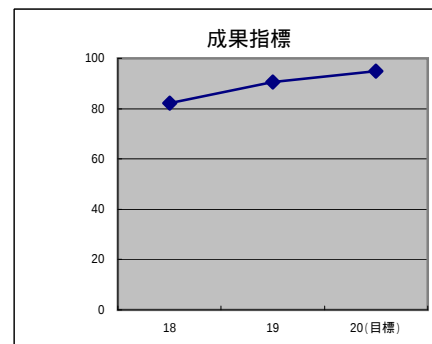
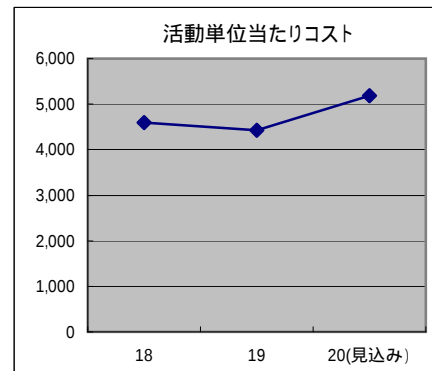


総合基本計画	事務事業名	予防接種事業		予算科目	会計	1	一般会計
					款	4	衛生費
	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		項	1	保健衛生費
	施策(節)	1	保健・医療		目	2	予防費
	施策の方向	(2)	保健事業の推進		事業	1	予防接種
作成部署				保健福祉部保健健康室健康増進課			
関連する計画等				連絡先 072 - 958 - 1111 内線 5150			
事業の目的	対象(誰を・何を)						
	予防接種対象者						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
	予防接種によって感染症の予防及び蔓延を防止する。						
事業の内容	集団接種: BCG、ポリオ						
	個別接種: 百日咳ジフテリア破傷風混合(DPT)、第2期ジフテリア破傷風混合(DT)、麻しん風しん混合(MR)、日本脳炎、高齢者インフルエンザ						
根拠法令等		予防接種法・結核予防法					
事業開始時期		☒ 昭和 ☐ 平成 34 年 月開始 ☐ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度					
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望							
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 外郭団体委託		名称	委託内容 予防接種業務		
		☒ 民間委託					

区分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		90,450	95,730	121,769
人件費【2】 (千円)		8,940	7,978	7,978
職員数	正規職員	1.00 人	0.67 人	0.67 人
	再任用職員	0.00 人	0.70 人	0.70 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.30 人	0.45 人	0.45 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		99,390	103,708	129,747
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	99,390	103,708	129,747
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
全接種者数 人		21,599	23,448	25,039
活動単位当たりコスト(【A】/【B】) 円		4,602 円	4,423 円	5,182 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口) 円		826 円	864 円	1,082 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	指標設定の考え方	平成18年度		平成19年度		平成20年度
	麻しん風しん混合1期2期接種率(%) 式) 接種者÷対象者×100	麻しん風しん混合接種対象者に対する接種者の割合	目標	95	95	達成率(%)	95
			実績	82.1	90.7	95.5%	
	BCG接種率(%) 式) 接種者÷対象者×100	BCG接種対象者に対する接種者の割合	目標	100	100	達成率(%)	100
			実績	99.9	99.7	99.7%	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	法令に基づく事業であり、感染症の予防・蔓延防止は全市民の利益である。
	○			○	○	○			○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	法令に基づく事業である。感染症の予防・蔓延防止は全市民の利益である。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☒	☐	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	個別接種により市民にとっては接種しやすくなっている。また、BCG接種については4ヶ月健診と同時に行うなど、市民の利便性と効率性をすすめている。
		受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☐	☒	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	感染症の予防・蔓延防止するために重要な事業である。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☐	☒	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	事業の企画・立案・実施に市民が参加協力をするのではないが、接種された方の意見はできる限り反映させている。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	集団接種から個別接種にした内容のものは、やや接種率の低下がみられたが、その他のものは接種率の変化はみられない。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	感染症の予防・蔓延防止は市民の健康と、安全で安心な生活を支えていく最も基盤となる事業であり、引き続き予防接種法に基づき事業をすすめていく。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	麻しん予防接種など、一部接種率の低い予防接種があり、接種率の向上に向けて医師会等関係機関と連携するとともに、市民への啓発を行っていく。	